

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成22年2月12日

【四半期会計期間】 第116期第3四半期(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

【会社名】 神東塗料株式会社

【英訳名】 SHINTO PAINT COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮脇一郎

【本店の所在の場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 村野義博

【最寄りの連絡場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 村野義博

【縦覧に供する場所】 神東塗料株式会社本社(東京)
(東京都江東区新木場四丁目3番17号)
株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第115期 第3四半期 連結累計期間	第116期 第3四半期 連結累計期間	第115期 第3四半期 連結会計期間	第116期 第3四半期 連結会計期間	第115期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日	自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日	自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日
売上高 (百万円)	16,436	14,200	5,208	4,892	21,317
経常利益 (百万円)	409	374	32	135	608
四半期(当期)純利益 (百万円)	223	196	13	87	299
純資産額 (百万円)	-	-	11,958	12,110	11,989
総資産額 (百万円)	-	-	33,621	31,832	32,171
1株当たり純資産額 (円)	-	-	379.16	383.14	380.07
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7.22	6.35	0.43	2.81	9.68
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	34.9	37.3	36.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	349	767	-	-	461
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	238	270	-	-	134
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	299	557	-	-	475
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	-	-	1,290	1,190	1,250
従業員数 (名)	-	-	389	366	387

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	366 (94)
---------	-------------

(注) 1 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

3 臨時従業員には、パートタイマー、嘱託社員及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	284 (51)
---------	-------------

(注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人員であります。

3 臨時従業員には、パートタイマー、嘱託社員及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
塗料事業	2,849	10.2
化成品事業	396	11.0
合計	3,245	10.3

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期比(%)
塗料事業	1,351	3.7
化成品事業	-	-
合計	1,351	3.7

(注) 1 金額は、仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社グループは主として見込み生産によっており、また、受注品も出荷までの期間が非常に短いため、受注状況については特記すべき事項はありません。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
塗料事業	4,499	5.7
化成品事業	393	10.3
合計	4,892	6.1

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結会計期間		当第3四半期連結会計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
デュボン神東・オートモティブ・システムズ(株)	664	12.8	689	14.1

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策やアジア向けを中心とした輸出の持ち直しにより、最悪期を脱し、緩やかな回復基調が続いておりますが、本格的な回復基調に戻るまでにはまだかなりの時間を要するものと予測されており、企業の設備投資の減少や雇用環境はまだまだ厳しく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、こうした厳しい経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動に取り組み、格段の経費削減努力を重ね、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は4,892百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。損益面では、営業利益は91百万円（前年同四半期は7百万円の営業損失）、経常利益は135百万円（前年同四半期比314.1%増）、四半期純利益は87百万円（前年同四半期比551.2%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（塗料事業）

IU（工業用）塗料分野では、アルミ電着塗料は不況の影響により、国内のビル建設工事、一般戸建住宅着工の減少が続いており、アルミ建材市場では事業撤退や再編成などの大きな変化の時期を迎え、その影響により、売上は減少いたしました。工業用電着塗料は、一部の自動車関連や電器部品関連に回復の兆しが見られるものの、主力の鋼製家具やプレハブ住宅、公共関連製品などは依然として低迷しており、数量、売上とも減少となりました。粉体塗料は景気低迷の影響を受け、既存需要が落ち込み、売上は低調に推移しました。工業用塗料は一部のユーザー向けは前年比プラス基調となりましたが、工作機械ユーザーの減産が響き、売上は大幅な減少となりました。

汎用塗料分野では、建設用塗料は慢性的な不況感から設備投資等の内需が低迷しており、大型プロジェクト（橋梁・プラント）の受注が不振だったため、売上は減少となりました。道路施設用塗料は溶融材は減少しましたが、ペイント区画線、カラー舗装材、すべり止め及び段差補修材が堅調に推移し、売上は増加となりました。樹脂応用製品の売上については、スラブ補修材が好調に推移しましたが、主力の環境対応型商品である道床安定剤が減少し、前期並みの売上に止まりました。

自動車用塗料分野では、自動車生産が回復基調となるとともに塗料販売も7月以降回復基調を続けているものの本格的な回復には至っておらず、売上は減少しました。

この結果、売上高は4,499百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は86百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

（化成品事業）

受託生産している化成品の売上高は393百万円（前年同四半期比10.3%減）、営業利益は5百万円（前年同四半期は5百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末に比べ215百万円増加し、棚卸資産が190百万円、有形固定資産が294百万円減少したこと等により31,832百万円（前連結会計年度末比339百万円減）となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金が358百万円増加し、長短借入金及び社債が425百万円、その他（社外預り金）が217百万円減少したこと等により19,722百万円（前連結会計年度末比460百万円減）となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が72百万円増加したこと等により12,110百万円（前連結会計年度末比121百万円増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,190百万円（前四半期連結会計期間末比63百万円増）となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、473百万円（前年同四半期比470百万円増）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益133百万円、減価償却費161百万円の収入等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、25百万円（前年同四半期比41百万円増）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出22百万円及び関係会社株式の取得による支出6百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、384百万円（前年同四半期比685百万円減）となりました。その主な要因は、短期借入金の返済による支出341百万円、長期借入金の返済による支出43百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は38百万円でありま
す。また、研究開発による新製品は次のとおりであります。

(塗料事業)

- ・マンホール・鋳物用アクリルカチオン電着塗料 「シントーサクセード #3550 ECO」
- ・電線ドラム用無鉛塗料 「電線ドラム用塗料 ECO」
- ・ゴルフボール用新色パール塗料 「ポリン #940」
- ・帯鋼用焼付け上塗り塗料 「エポラミン #670」
- ・路面標示用溶剤形アクリル樹脂系塗料 「シントーライナー #200 (常温) 航空赤」

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	112,000,000
計	112,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成22年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,000,000	31,000,000	大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であります。
計	31,000,000	31,000,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年12月31日		31,000		2,255		585

(5) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成21年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 10,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 30,937,000	30,937	-
単元未満株式	普通株式 53,000	-	-
発行済株式総数	31,000,000	-	-
総株主の議決権	-	30,937	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には証券保管振替機構名義の普通株式が8,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る普通株式の議決権が8個含まれております。

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 神東塗料株式会社	兵庫県尼崎市南塚口町 六丁目10番73号	10,000	-	10,000	0.03
計	-	10,000	-	10,000	0.03

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	138	113	143	152	150	139	133	126	110
最低(円)	96	101	110	126	136	126	116	89	94

(注) 株価は、大阪証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、また、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,220	1,280
受取手形及び売掛金	3, 4 6,450	3 6,234
商品及び製品	1,537	1,703
原材料及び貯蔵品	518	543
その他	292	391
貸倒引当金	28	30
流動資産合計	9,990	10,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1 2,916	1 3,049
機械装置及び運搬具（純額）	1 737	1 869
土地	16,491	16,491
その他（純額）	1 199	1 228
有形固定資産合計	20,345	20,639
無形固定資産	240	258
投資その他の資産		
投資有価証券	744	653
その他	518	499
貸倒引当金	6	2
投資その他の資産合計	1,256	1,150
固定資産合計	21,842	22,049
資産合計	31,832	32,171
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4 5,920	5,561
短期借入金	3,128	3,191
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	73	63
賞与引当金	88	164
その他	4 632	957
流動負債合計	9,942	10,038
固定負債		
社債	-	50
長期借入金	3,300	3,612
再評価に係る繰延税金負債	5,114	5,114
退職給付引当金	779	769
役員退職慰労引当金	6	8
負ののれん	16	21
その他	562	567
固定負債合計	9,779	10,144
負債合計	19,722	20,182

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	2,382	2,309
自己株式	1	1
株主資本合計	5,220	5,147
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	18
土地再評価差額金	6,725	6,725
為替換算調整勘定	70	76
評価・換算差額等合計	6,652	6,630
少数株主持分	237	210
純資産合計	12,110	11,989
負債純資産合計	31,832	32,171

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	16,436	14,200
売上原価	13,319	11,234
売上総利益	3,116	2,966
販売費及び一般管理費		
発送費	458	386
広告宣伝費及び販売促進費	84	81
従業員給料及び手当	816	779
賞与引当金繰入額	50	38
退職給付費用	140	134
減価償却費	106	93
試験研究費	127	110
その他	1,095	1,041
販売費及び一般管理費合計	2,878	2,668
営業利益	238	297
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	9
受取ロイヤリティ	66	-
受取賃貸料	-	30
持分法による投資利益	109	78
その他	75	30
営業外収益合計	260	149
営業外費用		
支払利息	70	66
その他	18	6
営業外費用合計	88	72
経常利益	409	374
特別利益		
固定資産売却益	27	-
特別利益合計	27	-
特別損失		
固定資産除却損	20	2
特別損失合計	20	2
税金等調整前四半期純利益	416	371
法人税等	155	139
少数株主利益	37	35
四半期純利益	223	196

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,208	4,892
売上原価	4,262	3,890
売上総利益	946	1,002
販売費及び一般管理費		
発送費	139	131
広告宣伝費及び販売促進費	30	23
従業員給料及び手当	246	244
賞与引当金繰入額	50	38
退職給付費用	48	43
減価償却費	36	31
試験研究費	46	38
その他	355	357
販売費及び一般管理費合計	953	910
営業利益又は営業損失()	7	91
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取ロイヤリティ	0	-
受取賃貸料	-	10
持分法による投資利益	53	48
その他	16	5
営業外収益合計	71	65
営業外費用		
支払利息	23	20
その他	8	0
営業外費用合計	31	21
経常利益	32	135
特別損失		
固定資産除却損	15	1
特別損失合計	15	1
税金等調整前四半期純利益	17	133
法人税等	9	37
少数株主利益	13	9
四半期純利益	13	87

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	416	371
減価償却費	509	474
貸倒引当金の増減額（は減少）	4	1
賞与引当金の増減額（は減少）	121	76
役員賞与引当金の増減額（は減少）	3	-
退職給付引当金の増減額（は減少）	16	10
受取利息及び受取配当金	9	10
支払利息	70	66
持分法による投資損益（は益）	109	78
投資有価証券評価損益（は益）	4	-
有形固定資産売却損益（は益）	27	-
有形固定資産除却損	20	2
売上債権の増減額（は増加）	695	220
たな卸資産の増減額（は増加）	140	190
仕入債務の増減額（は減少）	635	351
未払消費税等の増減額（は減少）	43	6
その他	491	210
小計	25	879
利息及び配当金の受取額	30	51
利息の支払額	63	57
法人税等の支払額	341	106
営業活動によるキャッシュ・フロー	349	767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	224	222
有形固定資産の売却による収入	553	-
投資有価証券の売却による収入	1	1
関係会社株式の取得による支出	-	6
長期貸付けによる支出	-	51
長期貸付金の回収による収入	1	0
その他	93	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	238	270
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,535	400
短期借入金の返済による支出	463	625
長期借入れによる収入	-	500
長期借入金の返済による支出	559	650
社債の償還による支出	50	50
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	154	123
少数株主への配当金の支払額	9	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	299	557
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	188	60
現金及び現金同等物の期首残高	1,101	1,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,290	1,190

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
1 会計処理の原則及び手続、表示方法等の変更	<p>ロイヤリティーの会計処理方法の変更</p> <p>技術供与先から受け取るロイヤリティー収入については従来は営業外収益の「受取ロイヤリティー」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高に含めて計上する方法に変更しております。</p> <p>この変更は今後のユーザーの海外への生産移管等の拡大にともない、受取ロイヤリティーの重要性が増すことから、当社グループの営業活動の成果を明確に表示するために行ったものであります。</p> <p>この変更により、従来と同一の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の売上高、売上総利益及び営業利益は61百万円増加しております。なお、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p>

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	<p>前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取賃貸料」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取賃貸料」は30百万円であります。</p>

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日至平成21年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	<p>前第3四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取賃貸料」は、第2四半期連結会計期間において、営業外収益総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお、前第3四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取賃貸料」は10百万円であります。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
1 棚卸資産の評価方法	<p>当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p> <p>また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。</p>
2 固定資産の減価償却費の算定方法	<p>定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
1 税金費用の計算	<p>税金費用の算定に関しては、第3四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。</p> <p>なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 22,697百万円	1 有形固定資産の減価償却累計額 22,323百万円
2 受取手形割引高 23百万円	2 受取手形割引高 20百万円
3 譲渡債権額 受取手形 447百万円	3 譲渡債権額 受取手形 288百万円
4 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。 受取手形 259百万円 支払手形 261百万円 設備関係支払手形 27百万円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 1,320百万円 預入期間が3か月超の定期預金 30百万円 現金及び現金同等物 1,290百万円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 1,220百万円 預入期間が3か月超の定期預金 30百万円 現金及び現金同等物 1,190百万円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末 (株)
普通株式	31,000,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末 (株)
普通株式	10,857

3 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月15日 取締役会決議	普通株式	123	4.00	平成21年3月31日	平成21年6月8日	利益剰余金

4 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	塗料事業 (百万円)	化成品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	4,770	438	5,208	-	5,208
営業損失()	1	5	7	-	7

- (注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品
 (1) 塗料事業 油性塗料及び合成樹脂塗料
 (2) 化成品事業 防疫薬剤及び工業用殺菌剤

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	塗料事業 (百万円)	化成品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	4,499	393	4,892	-	4,892
営業利益	86	5	91	-	91

- (注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品
 (1) 塗料事業 油性塗料及び合成樹脂塗料
 (2) 化成品事業 防疫薬剤及び工業用殺菌剤
 3 技術供与先から受け取るロイヤリティー収入については従来は営業外収益の「受取ロイヤリティー」に計上していましたが、第1四半期連結会計期間より売上高に含めて計上する方法に変更しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	塗料事業 (百万円)	化成品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	15,053	1,383	16,436	-	16,436
営業利益	190	47	238	-	238

- (注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品
 (1) 塗料事業 油性塗料及び合成樹脂塗料
 (2) 化成品事業 防疫薬剤及び工業用殺菌剤

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	塗料事業 (百万円)	化成品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	12,896	1,304	14,200	-	14,200
営業利益	250	47	297	-	297

- (注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品
 (1) 塗料事業 油性塗料及び合成樹脂塗料
 (2) 化成品事業 防疫薬剤及び工業用殺菌剤
 3 技術供与先から受け取るロイヤリティー収入については従来は営業外収益の「受取ロイヤリティー」に計上していましたが、第1四半期連結会計期間より売上高に含めて計上する方法に変更しております。この変更により、従来と同一の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の塗料事業の売上高及び営業利益が61百万円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）及び
当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）並びに
前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）及び
当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）及び
当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）並びに
前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）及び
当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 383.14円	1株当たり純資産額 380.07円

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益 7.22円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 6.35円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	223	196
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	223	196
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,990	30,989

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益 0.43円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 2.81円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	13	87
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	13	87
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,989	30,989

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 2月13日

神東塗料株式会社
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 後 藤 研 了 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 前 田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 2月12日

神東塗料株式会社
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 後 藤 研 了 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 前 田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載されているとおり、技術供与先から受け取るロイヤリティー収入については従来は営業外収益の「受取ロイヤリティー」に計上していたが、第1四半期連結会計期間より売上高に含めて計上する方法に変更している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。